

Vol.34

一茶にみる江戸の園芸文化

世界最高水準ともいわれるほど成熟していた江戸時代の園芸文化。花好きだった徳川家将軍三代や大名にとどまらず、庶民にも花を育て、愛でる文化が広がっていたことが、江戸時代の俳人・小林一茶の句からうかがえます。

今回は、「梅」「桜」「朝顔」「菊」を中心に、一茶の句を通して、江戸期に花開いた庶民の園芸文化を訪ねます。



Photo: Seitaro IKEDA

日時

2023年6月13日(火)
13:30~15:00

会場

文京区立肥後細川庭園 松聲閣
(文京区目白台1-1-22)

参加費

3,000円
(抹茶+和菓子付)

定員

20名(先着順)

申込方法

お電話か松聲閣 窓口で①氏名、②参加人数、③電話番号を下記までお申し込み下さい。

講師



賀来 宏和 氏

千葉大学大学院園芸学研究科客員教授／NPO法人社叢学会理事／株式会社グリーンダイナミクス代表取締役

1954年生まれ。79年建設省入省、91年退官後、株式会社グリーンダイナミクス設立、国際園芸博や花のテーマ施設など園芸や造園分野の事業の企画監理に携わる。延喜式内社等の古社を中心に全国の6,000社を超える鎮守の杜を回り、その論考も多数。「2004年浜名湖花博」総合プロデューサー、「2010年平城遷都1300年記念事業」ランドスケーププロデューサー、「2027年横浜国際園芸博覧会」農&園藝コーディネーター。本年3月に『一茶繚乱～俳人 小林一茶と江戸の園芸文化～』(八坂書房)を上梓。

問合せ
申込先

文京区立肥後細川庭園 〒112-0015東京都文京区目白台1-1-22 Tel 03-3941-2010
HP <https://www.higo-hosokawa.jp/>